

事務事業名	自転車ネットワーク事業			担当	建設部 建設課 道路建設係			
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			増補版施策名			
施策名	4	道路ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成28年度～）		
予算科目	1.一般会計	8.土木費	2.道路橋りょう費	3.道路新設改良費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	安全で快適な自転車利用環境を整備するため、官公庁、学校、病院、商業施設等の生活拠点施設や観光・文化施設等をつなぐ自転車ネットワーク計画を策定し、自転車通行帯等を整備する。 自転車ネットワーク計画策定 ・安全で快適な自転車通行空間の整備 ・自転車利用マナーの周知 ・公共交通との連携 ・観光との連携							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 ・自転車ネットワーク計画改訂 ・自転車通行帯整備工事  31年度計画 ・自転車通行帯整備工事 ・自転車ネットワーク計画検討委員会の開催	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称							
	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア	自転車通行帯整備延長	m		0	0	700	500
	イ	調査・計画策定等業務委託	件		1	2	1	0
ウ	自転車ネットワーク計画検討委員会	回		2	4	0	1	
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・自転車ネットワーク路線及び道路利用者（市民）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称							
	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア	自転車ネットワーク路線延長	km		-	60.8	60.8	62.0
	イ	道路利用者（市民）	人		79,422	79,542	79,414	79,324
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・安全で円滑な交通の確保	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称							
	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア	自転車通行帯整備路線延長	km		0	0	0.7	1.2
	イ	整備率	%		0	0	1.2	1.9
ウ								
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・道路ネットワークの整備	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称							
	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア	道路の整備状況が良いと感じている市民の割合	%	65.3	61.3	63.9	62.5	62.3
	イ							
ウ								
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	2,900	2,640	1,600	5,500
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	2,900	2,760	2,083	4,500	
	事業費計(A)	千円	0	5,800	5,400	3,683	10,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	0	100	200	100	160
		人件費計(B)	千円	0	415	830	417	667
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	6,215	6,230	4,100	10,667	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・平成25年6月に改正された道路交通法により、自転車が通行できるは、道路の左側部分に設けられた路側帯に限ると徹底されたことにより、安全で快適に自転車を利用することができるよう、自転車通行帯の整備が喫緊の課題となっていた。 ・平成27年10月策定の「真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における新規事業として平成28年度から事業を開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・平成24年11月 国土交通省、警察庁において「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を策定。 ・平成25年6月 道路交通法改正により自転車等の軽車両が通行できる路側帯は、道路の左側部分に設けられた路側帯に限ると徹底される。 ・平成26年2月 栃木県、栃木県警察本部、宇都宮国道事務所において「栃木県版自転車利用環境創出ガイドライン」を策定。 ・平成28年7月 国土交通省、警察庁において「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を改定。改定内容は、段階的な計画策定や暫定形態の活用等。 ・平成30年度より社会資本整備総合交付金を導入した。 ・平成31年3月 自転車通行帯を設けることのできる路肩幅を1.5mから1.0mに改定することについて、検討を行う。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・自転車ネットワーク計画策定にあたり、学識経験者や国、県、警察、学校関係のほか、交通事業者、商業団体、観光団体、地域、議会、公募市民等、幅広い人選により組織された「真岡市自転車ネットワーク計画検討委員会」を組織し事業を進めている。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・自転車通行帯を整備することにより、自転車、歩行者の安全で円滑な交通を確保するものであり、道路ネットワークの整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・自転車、歩行者の安全で円滑な交通を確保するものであり、市が行うことは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・自転車ネットワーク路線は、平成29年度に策定した自転車ネットワーク計画において整備対象路線を選定し整備を進めており、対象と意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・計画どおり順次整備しており向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・廃止、休止した場合、自転車利用者は、歩道や通行帯明示のない車道を通行しなければならない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・調査業務について、積算基準等に基づき適正に実施しており削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・基礎調査を業務委託するなどし、必要最低限の人員で行っている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・道路は、不特定多数の人が利用するものであり公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							